

エコチル調査でわかったこと

アンケート報告

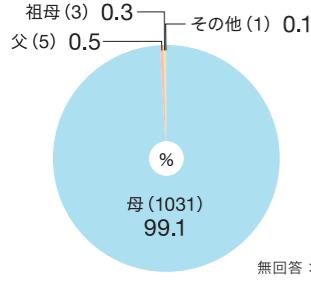
エコチル調査では、2016年4月～7月にかけて、参加者の皆さんに謝礼の利用状況や満足度に関するアンケート調査を実施させていただきました。アンケート調査実施時点では、謝礼として電子マネーポイント(WAON)を付与させていただいておりました。しかし、アンケートの結果、電子マネーではなく商品券の希望が多かったこと、また、質問票を提出していただいている方の中で2割の方が、付与された電子マネーポイント(WAON)を利用していないことがわかりました。この結果を受けて当サブユニットセンターでは、2018年4月から、質問票を提出していただいた方への謝礼をJCBギフトカードに変更いたしました。今年度、謝礼を変更して2年が経過したタイミングで再度、参加者の皆さんにアンケートを実施いたしましたので、その集計結果をご報告させていただきます。

謝礼に関するアンケート

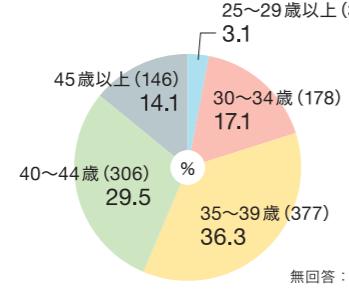
n=1,041 (人)



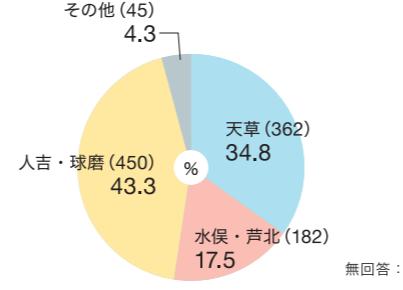
回答者割合



回答者の年齢割合



居住地域割合

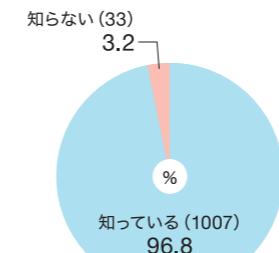


回答してくださった方の、99%がお母さんでした。

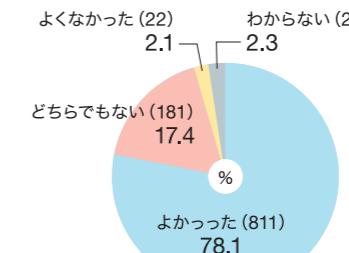
年齢の割合は、35～39歳の方が最も多く回答していただきました。

地域別の割合では、人吉・球磨地域が43.3%で最も多く、次に、天草地域34.8%、水俣・芦北地域17.5%という結果でした。

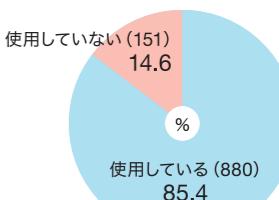
謝礼変更の認識



謝礼変更の感想



JCBギフトカードの利用について

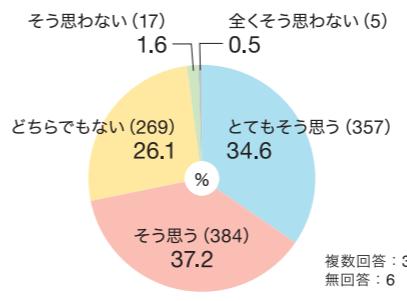


謝礼の変更については全体で96.8%と非常に多くの方に認識していただけていました。しかし、変更を知らないと答えた方が33名いらっしゃいました。

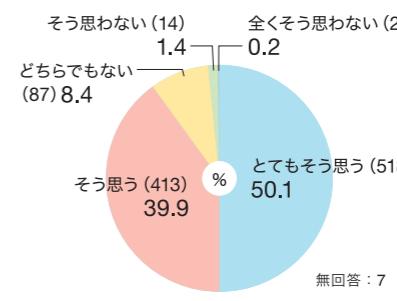
謝礼変更の感想は、「よかつた」と回答された方が78.1%で、「どちらでもない」が17.4%、「よくなかった」「わからない」が4.4%という結果でした。

JCBギフトカードの利用については、85.4%の方が利用されていましたが、14.6%の方は利用していないという結果でした。

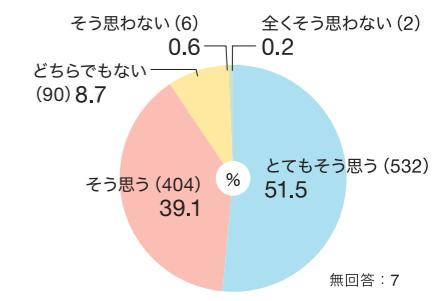
謝礼に必要性について



謝礼は質問票提出の動機付けになるか



謝礼は調査継続のモチベーションになるか



謝礼の必要性については、「とてもそう思う」「そう思う」と回答された方が71.8%、「どちらでもない」と回答された方は26.1%でしたが、その一方で「そう思わない」「全くそう思わない」と回答された方が2.1%いらっしゃいました。

謝礼は質問票提出の動機付けになるか、また、謝礼は調査継続のモチベーションになるかについては、いずれの質問でも90%以上の方が「とてもそう思う」「そう思う」と回答されました。「どちらでもない」が約9%、「そう思わない」「全くそう思わない」と回答された方が約1%いらっしゃいました。

変更になってよかつた意見

*WAONのチャージを忘れそうになることがあります。JCBだと使用期限がないので助かります。使用できる店の幅も広がってよかったです。

*電子マネーは、利用できる場所も少なめでしたし、操作方法も、毎回苦戦していたので、なかなか利用していませんでした。ギフトカードに変わり、子供の物に使用させて頂きました。とても助かっています。

*謝礼については、いたくことが申し訳ないほどです。個人的には電子マネーでもギフト券でも構わないのですが、JCBギフトカードなどで、いただいた本人以外でも使えるため便利です。

変更しないほうがよかつた意見

*今回の豪雨で汚れてしまったため。電子マネーなら汚れる事はないなと思いますが、謝礼はもらえるだけでもありがたいので、特にこうして欲しいと思うような事はありません。

*JCBは、私たちの地域では使用が限られてしまうのでできれば電子マネーが良いです。チャージがコンビニ等でできるともっと良いですね。

*JCBギフトカードは好きな時に好きな物に使えたので良かったです。ただせっかくWAONカードを作ったのでそれをずっと使おうとお得に感じるなあと思いました。

その他の意見

*市街地からは離れた土地に住んでいるため、どちらの謝礼も日常で使う機会は限られています。

*特に望んでいません。出産時にこのプロジェクトに参加するにあたり、望んで参加したので謝礼には驚きました。なくても大丈夫です。

*子どもの成長を長期にわたって観察できるのは良い事だし、研究の役に立てるのならそれで十分です。(謝礼をいただけるのは正直ありがたいですが、なくとも協力するつもりです。)

総評

この結果から、謝礼が変更されていることを認識している方がほとんどで、利用状況も電子マネーより多いことがわかりました。電子マネーでは、使用期限が設けられており、その期限を過ぎてしまうとポイントが失効してしまうため、せっかく質問票を提出していただいても参加者へメリットを還元することができなくなっていました。一方、JCBギフトカードには使用期限がなく、参加者の手元に直接お届けできるため、質問票回答に対するインセンティブを受け取ったことを実感できるという面でもメリットが大きいと思います。利用していない回答された方の中には、「しばらくためから利用したい」と回答されている方もいらっしゃいました。ご意見の中で、「利用する店舗がない」と記載されている方が見受けられたので、今後皆さまの地域でJCBギフト券が利用できる施設の情報を集めて提供できるようにしたいと思います。また、謝礼が質問票の提出の動機付けになっており、調査継続のモチベーションになっていることをもわかりました。謝礼の金額が変更される予定はありませんが、謝礼に同封しているアメニティについては、皆さまのご意見を取り入れながらお子さんに役立つものを今後もお送りしていきます。